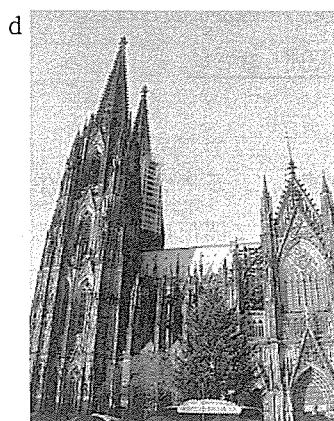
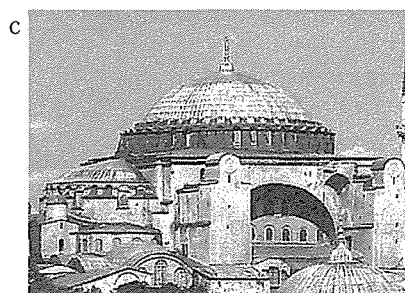


I 近代ヨーロッパの成立について述べた次の文章を読んで、以下の問1～問7に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の【解答欄A】の所定の欄に記入しなさい。

ルネサンスと宗教改革はヨーロッパ各地に広まり、近代ヨーロッパ精神の2つの根源となった。ともに中世カトリック的な価値観からの人間の解放をめざすという点では共通するものの、ルネサンスが豊かな都市の市民生活を背景に A 古典への回帰を主張するものであり美的・世俗的であったのに対して、宗教改革は聖書への回帰と B 個人の信仰の自由を主張するものであった。 C ルネサンスはヨーロッパ各地に伝播したものの大きな社会変革運動とはならなかったが、宗教改革は D カルヴァン派の広がりもあって諸侯や市民、農民の支持を集めていき、 E 新教派と旧教派の対立から宗教戦争がヨーロッパ各地で展開された。なかでもドイツで起きた三十年戦争は、当時 F ハプスブルク家が帝位を世襲していた神聖ローマ帝国を事実上崩壊させた。教皇や皇帝、封建諸侯といった中世的な権力の衰退と宗教戦争などの国家間の争いを通じて権力は国王に集中し、強力な一元的支配によって主権国家が G イギリス、スペイン、フランス、オランダなどで成立した。そして、信仰の自由を得た市民は、やがて近代国家の担い手として成長していくことになる。

問1 下線部Aに関連して、ルネサンス様式建築はローマ建築への回帰を特徴としている。次のa～dはそれぞれ異なる建築様式の建築物の写真である。これらの建築物に関する以下の(1)、(2)に答えなさい。



(1) a～dの建築物の建築様式名として、もっとも適切なものをそれぞれ次の1～4から選びなさい。

1. ゴシック様式 2. ビザンツ様式 3. ルネサンス様式 4. ロマネスク様式

(2) a～dの建築物の名称をそれぞれ次の1～4から選びなさい。

1. ケルン大聖堂 2. サン＝ピエトロ大聖堂 3. ハギア＝ソフィア大聖堂 4. ピサ大聖堂

問2 下線部Bに関連して、次の文章はルターが著した宗教改革三大論文の一つである「ドイツのキリスト者貴族に
あたえる書」からの引用である。この文章についての以下の(1)、(2)に答えなさい。

神は私どもに一人の若くて高貴な血統のお方を首長として与え、それによってあまたの人々の心を、大きな
明るい希望へと呼び覚ましたまいました。ですから、私どもの側でここですべきことをなし、時運を有利
に用いてしかるべきでありましょう。……

私どもはみな司祭であり、みなが一つの信仰、一つの福音、一つの秘蹟をもっているのです。それな
らどうして私どもは、信仰の領域において何が正しく何がまちがっているかを吟味し判断する力をも、備え
ていてはいけないのでしょうか。

(『世界の名著 23 ルター』中央公論新社、所収、成瀬治訳)

(1) この著作が発表された時期を次の年表中の1～5の中から選びなさい。

1
カルロス1世のスペイン王即位
2
ルターによる新約聖書のドイツ語訳完成
3
オスマン帝国による第1次ウィーン包囲
4
アウクスブルクの宗教和議
5

(2) 上の引用文の下線部に表されているルターの考えは一般に何主義と呼ばれているか。解答は【解答欄B】の
所定の欄に記述しなさい。

問3 下線部Cに関連して、ルネサンスで芽生えた科学精神と人文主義は、17、18世紀のヨーロッパにおいて科学革
命および啓蒙思想として開花し、啓蒙思想の影響を受けた啓蒙専制君主が各地で君主主導の改革に取り組んだ。
17、18世紀の社会科学と啓蒙思想および啓蒙専制君主に関する次の(1)～(5)に答えなさい。

(1) 次のa～dの文章はそれぞれこの時期の思想家の代表的著作からの抜粋である。これらの著作の著者とし
て適切な人物をそれぞれ下の1～6から選びなさい。(出典は解答のヒントになるため省略した)

a

自分たちすべてを畏怖させるような共通の権力がないあいだは、人間は戦争と呼ばれる状態、万人の
万人に対する闘いの状態にある。……

人々が外敵の侵入から、あるいは相互の権利侵害から身を守り、そして自らの労働と大地から得る収
穫によって、自分自身を養い、快適な生活を送ってゆくことを可能にするのは、公共的な権力である。

b

自然状態とは、私たちの自己保存の営みが、他者の自己保存の営みを害することのもっとも少ない状態であり、この状態こそが、本来もっとも平和的で、人類にもっとも適した状態だったのだ。……一人の人間が他人の援助を必要とするようになった瞬間から、また一人で二人分の蓄えをもつことが有益だと気づいた瞬間から平等は姿を消し、私有財産が導入され、労働が必要になった。……そしてそこにやがて隷属と窮乏が芽生え、作物とともに成長するようになる。人間の発明のうちで、この巨大な革命を生み出した二つの技術が、冶金術と農業である。

c

もっとも広い意味においては、法とは事物の本性に由来する必然的関係のことである。この意味では、あらゆる存在が法をもつ。神は神の法をもち、物質界は物質界の法をもち、人間にまさる知的存在はその法をもち、禽獣は禽獣の法をもち、そして人間は人間の法をもつ。

d

多くの利益を生む分業は、もともと、それによって生じる社会全般の富裕を予見し意図した人間の知恵の所産ではない。分業というものは人間の本性上のある性向、すなわち、ある物を別の物と取引し、交易し、交換しようとする性向の、緩慢で漸進的ではあるが、必然的な帰結なのである。……労働には、それが投じられる対象の価値を増加する種類のものと、そのような効果を生じないものがある。前者は、価値を生産するのだからこれを生産的労働と呼び、後者を非生産的労働と呼んでもよい。

1. アダム＝スミス 2. ケネー 3. ホッブズ 4. モンテスキュー 5. ルソー 6. ロック

(2) プロイセンでは、フリードリヒ2世が信教の自由の承認、産業の育成など内政改革を行なった。プロイセンが神聖ローマ皇帝から王国を名のることを許される契機となった出来事を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. オスマン帝国の第2次ウィーン包囲 2. オランダ独立戦争 3. 三十年戦争 4. スペイン継承戦争

(3) フリードリヒ2世は、オーストリアのマリア＝テレジアとオーストリア継承戦争および七年戦争を戦い、シュレジエンを確保した。七年戦争でプロイセン側に立った国を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. イギリス 2. スペイン 3. フランス 4. ロシア

(4) オーストリアでは、ヨーゼフ2世が農奴解放令と宗教寛容令を發布するなど啓蒙主義的改革を推し進めたが、保守派貴族や領内の諸民族の反抗により挫折を余儀なくされた。ヨーゼフ2世の統治が及ばなかった地域を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ナポリ 2. ベーメン 3. ポーランド 4. 南ネーデルラント

(5) ロシアではエカチェリーナ2世が内政改革を行なったが、プガチョフの農民反乱後に農奴制の強化に転じた。後にロシアが農奴解放令を発令する契機となった出来事を次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. アレクサンドル2世の暗殺
2. クリミア戦争
3. ナロードニキ運動
4. ポーランド1月蜂起(独立運動)

問4 下線部Dに関連して、カルヴァン派の予定説が資本主義の発展に対して果たした役割をその主著の中で強調した人物を、次の1～4の中から1人選びなさい。

1. ヴェーバー
2. ケインズ
3. ベンサム
4. リカード

問5 下線部Eに関連して、ヨーロッパ各地の宗教戦争と反宗教改革について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. トリエント公会議では、カトリック教会の改革をめざして教皇の至上権が再確認された。また、宗教裁判所が強化され、思想統制が行なわれた。
2. イギリスのヘンリ8世は首長法によってイギリス国教会を創設し、エリザベス1世はカトリック勢力を抑えるために統一法を制定したが、その後メアリ1世はスペイン王室と結んでカトリックを復活させた。
3. ネーデルラントの新教徒は、スペイン王フェリペ2世のカトリック化策に反抗して独立戦争を起こした。ユトレヒト同盟を結んだ北部7州は独立を宣言し、三十年戦争終結の際に独立は正式に承認された。
4. フランスでは、アンリ4世が信教の自由を認めるナントの勅令を発令し、ユグノー戦争は終結した。その後、ルイ14世がナントの勅令を廃止したため、商工業者を中心とするユグノーの多くが国外に脱出した。

問6 下線部Fに関連して、ハプスブルク家は三十年戦争により勢力を大きく後退させたものの、オスマン帝国に対しては、その勢力を抑えることに成功しヨーロッパの優位を確立した。以降、オスマン帝国は衰退の一途をたどったが、19世紀には種々の改革が試みられた。このことに関連する次の1～5の事項を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記入しなさい。

1. ギリシャの独立
2. 青年トルコ革命の開始
3. タンジマートの開始
4. ミドハト憲法の制定
5. 露土戦争の開始

問7 下線部Gに関連して、イギリスの市民革命について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. チャールズ1世の専制に対して議会は「権利の請願」を可決したが、チャールズ1世は議会を解散し10年以上にわたって開催しなかった。
2. 長老派を議会から追放したクロムウェルらはチャールズ1世を処刑して共和政を樹立した後、王党派の打倒を理由にアイルランドやスコットランドを征服した。
3. クロムウェルはオランダとの戦争に勝利した後、重商主義的政策を推進するために、植民地貿易の独占を目的とする航海法を制定した。
4. ジェームズ2世がカトリックと絶対王政の復活を推進したのに反抗し、ホイッグ党とトーリー党は共同してウィレムとメアリをオランダから招いた。その後、二人は「権利の宣言」を受け入れ王位に就いた。

Ⅱ 中華民国の成立前後の状況について述べた次の文章を読んで、以下の問8～問10に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の【解答欄 A】の所定の欄に記入しなさい。

19世紀半ばから A 列強の進出 に直面していた中国では、20世紀に入って B 辛亥革命 が起こり中華民国が成立した。その後、C 孫文が率いる国民党は、第1次国共合作を行ない「連ソ・容共」を掲げた。 孫文の死後は、蒋介石が国民革命軍総司令となって北伐を行ない、中国を統一した。

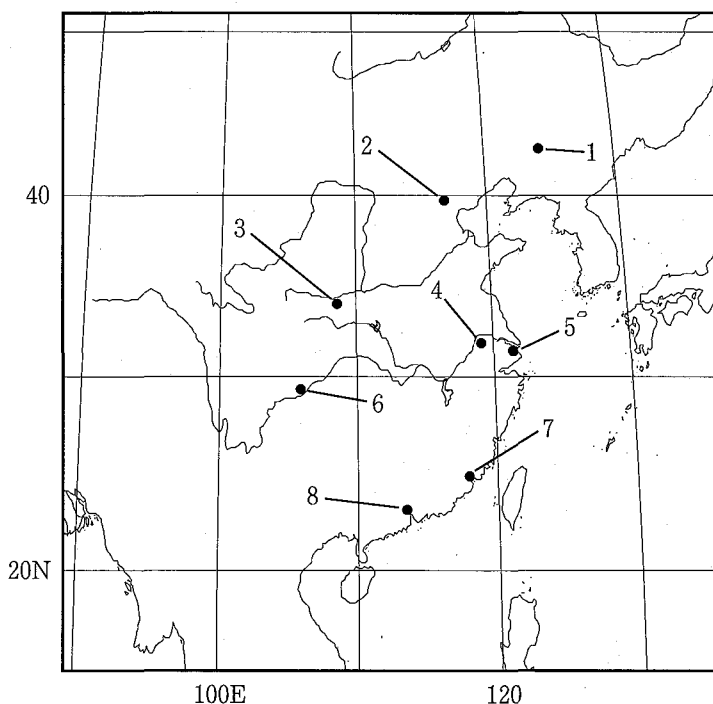
問8 下線部 A に関連して、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 19世紀半ばの中国への列強の進出に関連する次の1～5の事項を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記入しなさい。

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. アヘン戦争の開始 | 2. アロー戦争の開始 | 3. 虎門寨追加条約の締結 |
| 4. 南京条約の締結 | 5. 北京条約の締結 | |

(2) 次のa～dの説明文にあてはまる都市名を【解答欄 B】の所定の欄に記述し、さらに、その都市の位置を下の地図中の1～8から選んで、【解答欄 B】の所定の欄にその番号を記入しなさい。

- a. この都市はアヘン戦争の結果、開港場となった。また、この都市で起こった事件を契機として五・三〇運動が始まった。
- b. この都市でポルトガルは明と通商を開いた。また、この都市でのアヘン取締りがアヘン戦争の契機となった。
- c. 太平天国はこの都市を首都とした。中華民国の建国もこの都市で宣言された。
- d. この都市でアロー戦争の講和条約が結ばれた。また、この都市で袁世凱が臨時大總統に就任した。



- (3) 次の表は、日清戦争後に列強が中国で得た主な権益についてまとめたものである。表中の a～d を補うのもっとも適切な国名を、それぞれ下の 1～6 から選びなさい。

国名	権 益
a	威海衛・九竜半島の租借，長江流域と広東東部での利権の優先権
b	膠州湾の租借，山東地方での利権の優先権
c	広州湾の租借，広東西部と広西地方での利権の優先権
d	東清鉄道の敷設権，遼東半島南部の租借，東北地方での利権の優先権

1. アメリカ 2. イギリス 3. ドイツ 4. 日本 5. フランス 6. ロシア

問9 下線部 B に関連して、次の (1)，(2) に答えなさい。

- (1) 清朝および中華民国と周辺諸地域との関係について述べた次の文章中の下線部 1～7 の中で、誤っているものを 1 つ選びなさい。

清の康熙帝は、1 ジュンガルを破って外モンゴルを支配し、チベットにも勢力を拡大した。2 乾隆帝の時代には、東トルキスタンを占領しこの地域を 3 新疆と称した。これらの地域は、藩部として 4 清朝の軍によって直接統治されていたが、辛亥革命を機に、独立に向かう動きが起こった。外モンゴルでは 5 チョイバルサンらのモンゴル人民革命党により独立が達成され、6 モンゴル人民共和国が成立し、チベットでは 7 ダライ=ラマ 13世が独立を主張する布告を出した。

- (2) 19世紀末から20世紀初頭に起こった革命・独立運動について述べた次の 1～4 の文章の中から、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

1. イランでは、アフガーニーの呼びかけでタバコ=ボイコット運動が展開されて民族意識が高まり、やがて立憲革命が成功した。しかし、イランの分割を図るイギリス・ロシアが介入し、ロシアは武力によって議会の閉鎖した。
2. エジプトでは、ウラービーらが「エジプト人のためのエジプト」を掲げて武装蜂起したが、イギリスはこれを鎮圧してエジプトを保護下に置いた。第一次世界大戦後、ワフド党を中心にイギリスからの独立運動が活発化した。
3. フィリピンでは、アギナルドラがスペインの支配を排除して共和国を樹立したが、アメリカとの戦争に敗れてその統治下に入った。その後、ホセ=リサルらの活動によって民族意識が高揚しフィリピン革命が始まった。
4. ベトナムでは、フランスからの独立と立憲君主制の樹立をめざしてファン=ボイ=チャウらが維新会を組織し、日本に留学生を送るドンズー運動を展開した。この運動が弾圧されると中国でベトナム光復会が結成された。

問10 下線部Cに関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 中国とロシア(ソ連)との関係について述べた次の1～4の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. ロシアは南下政策をとり、清朝とイリ条約を結んでウスリー川以東の沿海州をロシア領とした。さらに清朝とアイグン条約を結んで黒竜江以北を獲得し、ウラジヴォストークに軍港を築いて南下政策の拠点とした。
2. 第一次世界大戦中にロシア革命によってソヴィエト政府が成立した。列強による対ソ干渉戦争中に、世界革命をめざすコミンテルンが創設された。中国ではコミンテルンの支援の下に陳独秀らが中国共産党を結成した。
3. ソヴィエト政府はパリで開かれた第一次世界大戦の講和会議に招かれなかった。中国では、この会議で二十一カ条要求の撤回などが認められなかったことに抗議して五・四運動が起こり、政府はヴェルサイユ条約への調印を拒否した。
4. 中華人民共和国が成立した翌年、中ソ友好同盟相互援助条約が結ばれた。その後、毛沢東がフルシチョフの平和共存路線を批判し中ソ対立が激化した。中国は自力更生の方針を強化し、60年代に入って原子爆弾の実験に成功した。

(2) 第2次国共合作の成立に至る経過を八・一宣言以降について説明しなさい。解答は〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

Ⅲ 「市民的不服従」に関する次の文章を読んで、以下の問11～問16に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の【解答欄 A】の所定の欄に記入しなさい。

奴隷制度や戦争に反対の意見をもっているが、それらを終わらせるためには、事実上なにひとつ行動しない、というひとたちが何千という。彼らはみずから α ワシントンや β フランクリンの子孫をもって任じているくせに、ポケットに両手をつっこんで腰をおろしたまま、どうしていいかわからないとつぶやき、ただ手をこまねいているばかりだ。

(H.D. ソロー著、飯田実訳『市民の反抗 他五篇』岩波書店)

上の文章は、『ウォールデン 森の生活』で著名なアメリカの作家ソローの「市民政府への反抗」と題する講演原稿(1849年)の一部である。彼は、マサチューセッツ州が課していた人頭税の支払いを拒否したため、1846年7月に投獄された。彼が人頭税の支払いを拒否したのは、A 奴隷制度を容認する国家に対する反抗のためであり、また、B 侵略戦争を起こした政府に対する反抗のためだった。

自らの良心と信念にもとづいて法を拒否するこの思想は「市民的不服従」の思想と呼ばれ、C マハトマ＝ガンディーや D マーティン＝ルーサー＝キングの思想に影響を及ぼしたといわれている。

問11 下線部 α の人物について述べた次の1～4の文章の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. 北部のニューイングランドの自営農民出身で、奴隷制度批判の先駆者だった。
2. アメリカ合衆国憲法が制定されたフィラデルフィアの憲法制定会議で議長を務めた。
3. 初代アメリカ大統領となり、フランス革命をめぐって起こった国際紛争では中立の立場をとった。
4. 財務長官には連邦派のハミルトンを、国務長官には反連邦派のジェファソンを起用した。

問12 下線部 β の人物に関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 次の文章は、『フランクリン自伝』の中の有名な一節である。二重下線部分の主張の背景には、イギリス本国と植民地時代のアメリカとの間に起こった一連の出来事がある。このことについて具体的な例をあげて説明しなさい。解答は【解答欄 B】の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

たしかに私たちの法律は国王の裁可をえるため国王に提出しなければならないが、しかし、いったん裁可されたものは国王といえどもこれを撤回することも、変更することもできないはずだった。そしてまた、植民地議会が国王の裁可なしに恒久的な法律をつくることができないと同じように、国王も植民地議会の同意なしに植民地の法律をつくることはできないのである。

(ベンジャミン＝フランクリン著、渡邊利雄訳『フランクリン自伝』中央公論社)

- (2) フランクリンは独学の科学者でもあり、稲妻と電気の同一性の実験などの業績によって、1753年にロンドン王立協会から表彰されている。次の1～9の中から、同時期の18世紀中葉に発表された作品を2つ選びなさい。(順不同)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. グロティウス『戦争と平和の法』 | 2. ケネー『経済表』 |
| 3. ダーウィン『種の起源』 | 4. デカルト『方法序説』 |
| 5. ニュートン『プリンキピア』 | 6. フランシス＝ベーコン『新オルガヌム』 |
| 7. マルクス『資本論』 | 8. ジョン＝ステュアート＝ミル『自由論』 |
| 9. ルソー『人間不平等起源論』 | |

問13 下線部 A に関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) アメリカの奴隷制度に関連する次の1～5の事項を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記入しなさい。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. アメリカ連合国の成立 | 2. カンザス・ネブラスカ法 | 3. ソローの逮捕・投獄 |
| 4. ミズーリ協定 | 5. リンカンの奴隷解放宣言 | |

- (2) 奴隷貿易に関連する次の1～4の文章の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

- 17・18世紀には、ヨーロッパからアフリカに武器を、アフリカからアメリカ地域に奴隷を、アメリカ地域からヨーロッパに砂糖・綿花を運ぶ三角貿易が行なわれた。
- 西アフリカ沿岸部にあったダホメ王国などの黒人国家は、ヨーロッパの商人に奴隷を供給していた。
- リベリア共和国は奴隷提供を拒否しつづけ、19世紀に入るとアメリカ植民地協会と連携して解放奴隷を受け入れ、土地を与えた。
- トルデシリャス条約によってポルトガル領と定められたブラジルでは、アシエンダ制とは異なる奴隷制プランテーションが展開された。

問14 下線部 B に関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) この侵略戦争の相手国を次の1～6の中から1つ選びなさい。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. イギリス | 2. スペイン | 3. ニカラグア |
| 4. パナマ | 5. フランス | 6. メキシコ |

- (2) 上の(1)の侵略戦争によってアメリカが新しく獲得した領土を次の1～6の中から1つ選びなさい。

- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1. オレゴン | 2. カリフォルニア | 3. テネシー |
| 4. フロリダ | 5. ミシシッピ | 6. ルイジアナ |

問15 下線部 C に関連して、次の (1)、(2) に答えなさい。

(1) 1930年にガンディーが展開した第2次非暴力的不服従運動を具体的に説明しなさい。解答は〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

(2) インド独立運動に関連する次の1～4の文章の中から誤りを含むものを1つ選びなさい。

1. インド国民会議は、インド人の知識層やエリート層を主体として、穏健な親英的組織として結成された。
2. 全インド＝ムスリム連盟は、当初反英的組織として結成されたが、ベンガル分割令を契機に親英に転じた。
3. ガンディーは、ヒンドゥー教徒を支持母体としていたが、オスマン帝国のカリフ制擁護運動への支持を訴えてムスリムの支持も得た。
4. 第二次世界大戦後、インドとパキスタンの2国に分離独立した後、ガンディーは急進的ヒンドゥー教徒によって暗殺された。

問16 下線部 D に関連して、次の (1)～(3) に答えなさい。

(1) 次の文章は、キング牧師の演説の一部である。文章中の (ア) を補うのもっとも適切な語を〔解答欄 B〕の所定の欄に漢字2文字で記述しなさい。

わが共和国の設計者たちが崇高な言葉で憲法と独立宣言を書いた時、彼らはすべてのアメリカ人が相続すべき約束手形に署名したのである。その手形は、すべての人々に、そう、白人たちと同様に黒人たちにも、「生命、(ア) および幸福追求」の「譲ることのできない権利」を保障することを約束するものであった。

(<http://www.americanrhetoric.com> よりキング牧師の演説を翻訳)

(2) 上の演説は、リンカンの奴隷解放宣言100周年の年に行なわれた。その5年後、パリ5月革命の年に、キング牧師は暗殺された。次のa～eの出来事のうち、キング牧師のこの演説の年から暗殺の年までの間に起こった出来事には1を、この期間より前に起こった出来事には0を、この期間より後に起こった出来事には2を記入しなさい。

- a. アメリカで人種・性・宗教・出身国等による差別を禁止する公民権法が成立した。
- b. ソ連でフルシチョフが首相に就任した。
- c. 第4次中東戦争が開始された。
- d. 中国でプロレタリア文化大革命が開始された。
- e. 日韓基本条約が調印された。

(3) 上の(2)で示した時期(キング牧師の演説の年から暗殺の年まで)にアメリカが行なった戦争は、アメリカの政治・経済・社会などにきわめて大きな影響を与えた。そのうち社会や文化に与えた影響について具体的に説明しなさい。解答は〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

IV 第二次世界大戦後の世界について述べた次の文章を読んで、問17～問19に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の【解答欄 C】の所定の欄に記入しなさい。

第二次世界大戦によって世界の主要資本主義国の多くが深刻な打撃を被ったのに対して、アメリカは本土が直接の戦場とならず、連合国への物資や資金供給を通じて強大な経済力をもつに至り、戦後の世界において超大国として君臨することになった。他方で、戦後に東欧諸国や中国など多くの国が社会主義化した。A アメリカとソ連はそれぞれ自国を中心とする陣営を構築し、両者の対立は先鋭化していった。両陣営が B 核戦力を軸とする軍備拡張競争を実行していくなかで、C アメリカもソ連もその経済力は相対的に低下していき、ソ連は国自体が消滅することになった。

問17 下線部 A に関して、次の a～e は下の年表中の空欄 1～8 のどこに入れるのが適切か。（重複使用不可）

- a. 中華人民共和国成立 b. トルーマン＝ドクトリン演説 c. 日米安全保障条約調印
d. ベルリン全面封鎖開始 e. ワルシャワ条約機構結成

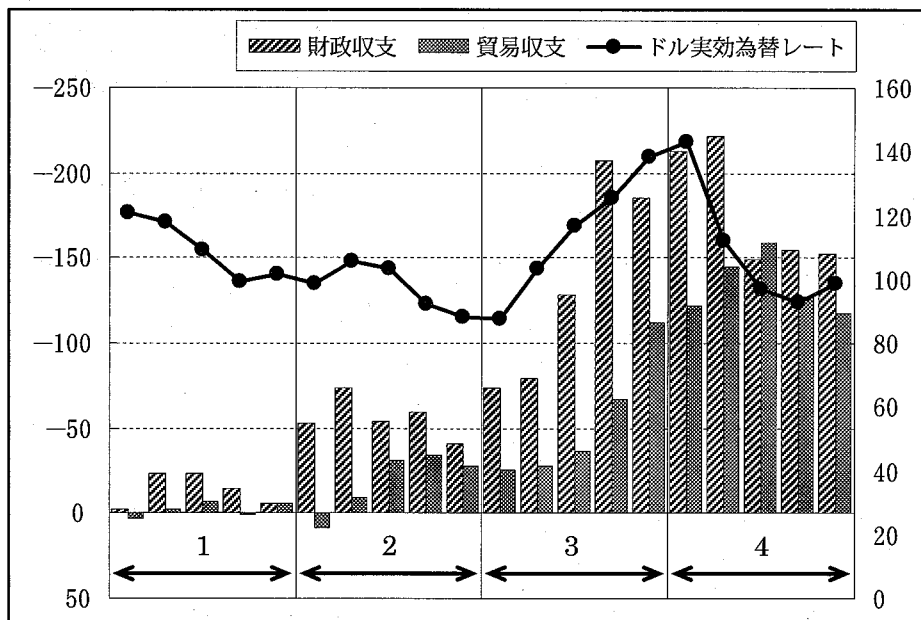
1
チャーチル前首相の「鉄のカーテン」演説
2
マーシャル＝プラン公表
3
ヨーロッパ経済協力機構結成
4
北大西洋条約調印
5
ソ連が初めて原爆実験に成功
6
朝鮮戦争勃発
7
東南アジア条約機構結成
8

問18 下線部 B に関して、次の米ソ間の軍事交渉に関連する 1～6 を年代の古い順に並べ替え、所定の解答欄の左から順にその番号を記入しなさい。

1. キューバ危機
2. 米ソ間のホットライン協定調印
3. 米ソ戦略兵器削減条約（START I）調印
4. 米ソ戦略兵器制限条約（SALT I）調印
5. 米ソ中距離核戦力（INF）全廃条約調印
6. 核不拡散条約（NPT）の調印開始

問19 下線部Cに関して、次の第1図は、第二次世界大戦後のある20年間について、アメリカの財政収支、貿易収支、ドルと主要諸国の通貨との為替レートの推移を示したグラフである。また第2図は、同期間のアメリカの軍事支出の推移を示したグラフである。両図中の1～4は5年ごとの時期区分である。これらの図に関連する以下の(1)、(2)に答えなさい。

第1図 アメリカの財政収支・貿易収支とドル実効為替レートの推移

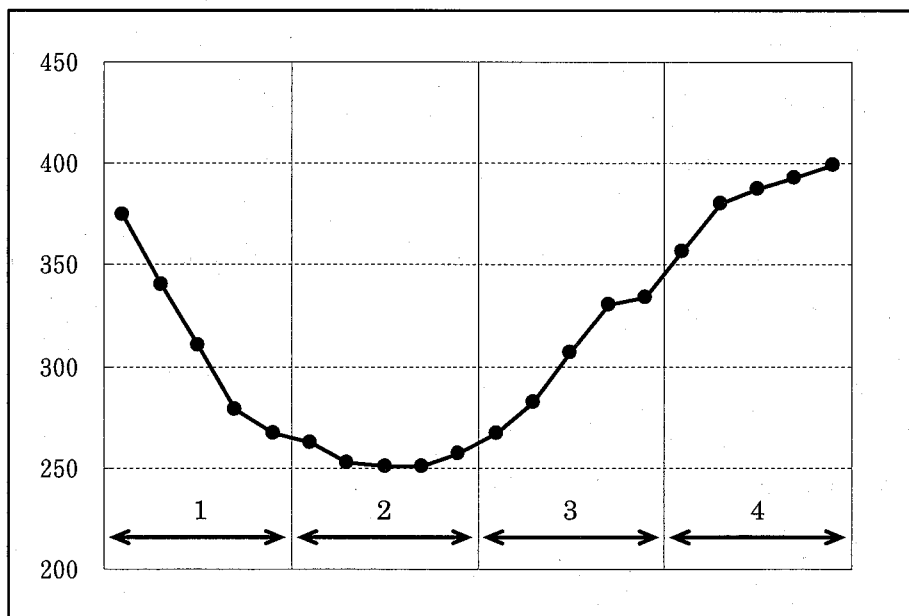


〔備考〕 財政収支と貿易収支は左目盛りで、単位は10億ドル。マイナスの数値は赤字を示す。

ドル実効為替レートは右目盛りで、ドルの価値の変化を2国間ではなく総合的に示すために、アメリカの主要貿易相手国との為替レートをその貿易額で加重平均し1973年=100とした値。

〔資料出所〕 U.S. Department of Commerce, *Survey of Current Business*. U.S. Government Printing Office, *Budget of the U.S. Government FY2010*, *Economic Report of the President 2009* より作成。

第2図 アメリカの軍事支出（実質額）



〔備考〕 単位は10億ドル。物価水準の変化の影響を排除するために2000年価格で示してある。

〔資料出所〕 U.S. Government Printing Office, *Budget of the U.S. Government FY2010* より作成。

(1) 次の a～e は図中の 1～4 のどの時期に起こった出来事か。図中の番号を所定の解答欄に記入しなさい。

図中の 1 の時期より前の出来事の場合は 0 を、4 の時期より後の出来事の場合は 5 を記入しなさい。

- a. イスラエルが周辺地域に侵攻し、シナイ半島、ガザ地区、ヨルダン川西岸地区、ゴラン高原などを占領した。
- b. イラクがクウェートに侵攻し、湾岸戦争が始まった。
- c. イラン・イラク戦争が始まった。
- d. ソ連がアフガニスタンへの侵攻を開始した。
- e. ベルリンの壁が崩壊し、米ソ首脳がマルタ島で会談し冷戦終結を宣言した。

(2) 図中の 4 の時期にドルの為替レートが急激に変化している理由について、当時のアメリカの経済状況と国際的な政策協調の面から、図から読み取れることを織り込んで説明しなさい。解答は〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。